

# 山形県国際戦略【概要】

目指す姿：成長するアジアとの交流・取引の拡大による本県産業の安定的な発展

～『実りの国 - Fruitful Yamagata (フルーツフル・やまがた) -』ブランドによる 海外取引の拡大、外国人観光客など人的交流の拡大～

計画期間：平成27年度～平成31年度  
(5年間)

取組みの  
基本方向

重点地域：台湾、香港、中国、ASEAN等

国際交流、経済交流、観光交流の一体的な推進

関係機関の連携強化  
(支援機関、金融機関、現地県人会等)

施策の  
展開方向

## 国際交流の拡大

- 多様な国際交流の促進・経済交流への発展
  - ・既存県人会の積極的活用と新たな県人会の設立促進
- グローバル人材育成の推進
  - ・小、中、高、大での外国語・国際理解教育の推進
  - ・県民の外国語学習機会の拡大
  - ・県内企業の海外展開のための人材の育成・確保
  - ・留学や海外研修など、人材交流の拡充
- 多文化共生の推進
  - ・外国人が暮らしやすい環境の整備
  - ・在住外国人との協働の拡大

目標指標	H25	H31
海外の大学・高校などとの協定・提携件数	176件	240件
国際交流サポーター登録者数	531人	600人

## 県内企業の海外取引の拡大

- 現地情報を速やかに収集できる仕組みづくり
  - ・海外在住コーディネーターの拡充など、現地支援機能の強化
- 市場特性を踏まえた販路の開拓・拡大
  - ・新たな市場開拓に向けた輸出パートナーの発掘
- ものづくり企業の海外取引支援
  - ・人脈づくりから取引成立まで、段階に応じたきめ細やかな支援

目標指標	H25	H31
海外取引を行う県内企業数	191社	240社
県産品の輸出定番化の品目数	77件	150件
県産農産物の輸出数量	227t	650t (H28)

## 市場特性に応じた 観光誘客の拡大

- 本県の強みを活かした、テーマ性のある、質の高い旅の提供や情報発信
- 東京オリンピック・パラリンピックを見据えたプロモーションの実施
- 交通の利便性の向上(チャーター便運航、羽田乗継・他県空港利用、クルーズ船の酒田港利用)
- 受入態勢の整備促進(無料公衆無線LAN整備、外国語対応人材の養成)

目標指標	H25	H31
外国人観光客の県内受入数	49,755人	150,000人
外国人観光客の宿泊者数	37,410人	80,000人

## 国際物流の推進

- 酒田港の国際物流拠点化の推進
  - ・酒田港利用貨物の掘り起こし
  - ・国際定期コンテナ航路の拡充
  - ・酒田港の港湾機能強化等による利便性向上
  - ・広域的リサイクルネットワーク拠点化の推進
- 航空機の活用による国際物流ルート  
の検討

目標指標	H25	H31
酒田港国際定期コンテナ航路貨物量	7,797 TEU	35,000 TEU

グローバル人材育成  
経済交流への発展等

一体的推進

地域別の  
方向

### 台湾

### 香港

- ・輸出パートナーとの連携による販売プロモーションなど、県産品の定番化・ブランド化の推進
- ・おしん、樹氷などの観光素材を活用した本県のブランディングとリピーターの確保(台湾)
- ・海外個人旅行をターゲットとした誘客活動、風評払拭のための継続的な安全安心情報の発信(香港)

### 中国

- ・県ハルビン事務所を通じた、黒龍江省との多分野での交流の活発化、人脈づくり
- ・東北三省での経済交流ニーズの掘り起こし
- ・大消費地(北京・上海・広州など)をターゲットにした県産品の販路拡大
- ・スキー旅行者をターゲットとした誘客活動、通年型旅行商品の造成
- ・酒田港から中国への国際定期コンテナ航路の開設

### ASEAN

- ・現地拠点を活用し、海外取引や海外誘客における新たな有望市場の開拓を本格化
- ・現地メディア等からの情報発信の強化による本県の認知度向上
- ・交流の端緒となるキーパーソンの発掘など、情報・取引ルートの拡充
- ・訪日旅行者の多いタイ、シンガポール、マレーシアでの重点的な誘客促進
- ・ビジネスミッションや商談会開催による、本県ものづくり企業の海外展開の支援

### 韓国

- ・日本食レストランや高級ホテルへの日本酒など業務用食材の販路開拓
- ・風評払拭への継続的な安全安心情報の発信
- ・スキー、ゴルフ、トレッキング旅行中心の誘客から、県内全域及び通年型観光への拡大

### 極東 ロシア

- ・花卉、りんご、ラ・フランスなど有望品目に絞った販売プロモーションの実施
- ・酒田港から極東ロシアへの直行航路の開設に向けた貿易拡大

### その他の地域 (新規市場)

- ・欧州・北米の展示商談会への出展支援
- ・欧州からの観光誘客に向けた調査分析
- ・インドへの県産品輸出に向けた市場調査の実施
- ・豪州からのスキー誘客の促進

推進体制  
と手法

#### 1. 現地支援体制の検証と見直し

- ・現地の情勢変化や取組み状況等を踏まえ、柔軟で効果的な現地支援体制を構築

#### 2. 推進機関の連携

- ・各推進機関がそれぞれの役割を認識し、積極的に取組むとともに、相互に連携し、県内企業等を支援

#### 3. 情報発信の強化

- ・トップセールスの展開
- ・海外拠点・海外県人会の活用
- ・SNS(フェイスブック等)の活用

#### 4. 進行管理等

- ・施策・事業について、毎年、工程表等に基づく展開方針を設定
- ・外部有識者による山形県国際戦略検証委員会(仮称)を設置し、施策・事業の検証・評価を実施し、展開方針に反映